

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

薫る風おなかいっぱい吸込んで  
八十路仲間と除草に励む

●富谷市 佐藤英克

さかさ富士写して光る山中湖

スケート靴は遠い想い出

●松戸市 秋元輝美

職退いてメール減りゆく寂しさに

老いの孤独を痛感するなり

●印西市 山田 明

小金井の緑豊かなまちづくり

笑顔で精出すシルバー会員

●小金井市 杉中清良

田植おえ夜中に歌うかえるたち

命を繋ぐ大合唱

●四日市市 河合 勲

新茶入れ夫と人生振り返る

若き日のことこれまでのこと

●明石市 小田和子

俳 句

幾度めか梅ジャムに妻したり顔

●神栖市 安澤宏介

教会の暗きより出ず白い著菫

●小山市 原田利江

修道女薄暑の町を自転車で

●本庄市 長谷川千鶴子

南天の花びら散りし庭白し

●草加市 長谷部禎子

良く晴れて殺気消したり藪蚊かな

●戸田市 篠崎志津子

夏の星この恋迷う島の道

●戸田市 清水久雄

夕チアオイ梅雨を待てずに咲き終わり

●朝霞市 林 則雄

台風のお目目大きくどこ狙う

●東京都葛飾区 東海洋一

よちよちやママの背を追う夏帽子

●平塚市 田中博由

突然の闇に聞こえる恋の猫

●塩尻市 大家協治

藤の花風柔らかに六地藏

●塩尻市 奥原光夫

舂して郭公はどこで豆をまく

●塩尻市 小野正平

片栗の花散らす風彩を増す

●塩尻市 町田まさ子

青紅葉裏参道や美しき

●長岡京市 宮先一雄

四年ぶり淀の水面に花火咲く

●門真市 藤岡春男

妻の愛ひと口豆のにぎり飯

●明石市 小田慶喜

竿撓しない銀鱗跳ねて鮎あなの川

●伊丹市 磯部芳子